

【テキストサンプル1】

大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

障がい学生修学支援ルーム
E-mail：(メールアドレス記載)
TEL：072-978-3479

■今まで、ルームに集まってきた人
今、ルームに集まる人
そして、これからも集まり続ける人

■たくさんの方が集まり、活動や雰囲気
創り出すルームをハチの巣のイメージで表現しました。
ハチは集まって部屋を作り、巣を発展させます。
今あるもの、今足りないものを可視化し、ルームの更なる成長・発展に繋がりたいと考えています。

■active inactive

(以下、蜂の巣の各部屋の中に、取り組みごとの説明が書かれている。中心に支援ルームがあり、その周りにいろいろな取り組みが書かれている)

■利用学生

・学びの場

利用学生も支援の内容やシステムなどを学べる。
…利用学生も支援をもっと知りたい！

・利用学生との面談

利用学生へのガイダンスとニーズ把握

・利用学生の意思表示

もっと自分の言葉で伝えたい！もっと教員と話したい！

・手話講座

利用学生が講座形式で教えます。短期間で手話力UP!

■交流

気軽に来れる！
気楽なお茶の場
お茶も完備！

・新入生歓迎会

4月半ばにやります！…が広報不足で、認知度が低いです。

・(写真：10名ほどの学生が、色とりどりの紙を持って、楽しそうに記念撮影している様子)

・テイカー募集

チラシ、HP、スカウトなど始まりはいろいろ

・手話わいわい

手話をやってみる、楽しむきっかけに…

・(写真：お弁当を持参した7名の学生が手話で話している)

■支援ルーム

支えているのは、優しい教職員さん、卒業生や学生たち、フリースペースです！

■研修

・応用研修

支援について、実践も含めて詳しく学びます！

・特待生

先輩テイカーがテイクのコツを熱く伝授します。

・（写真：4名の学生が2名ずつのペアになり、先輩の指導を受けながらパソコンノートテイクの練習をしている）

・手話支援

授業形態によっては手話支援も行いますが、現状でできる人が少なく研修ありません。

・遠隔支援

（写真：2台のPCとスピーカーがあり、2名の学生が入力している）